資料 No.1-①

令和３年度　全国学力・学習状況調査の結果について

令和３年１０月７日
岡谷市教育委員会

「全国・学力学習状況調査」は、文部科学省が今後の教育施策や教育活動の改善に役立てるために、全国の**小学校６年生、中学校３年生を対象**に毎年実施する調査です。（本年度は５月２７日実施）

１　調査の目的（文部科学省による調査）

◇国の義務教育の機会均等と教育水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

❶ 教科に関する調査（国語、算数・数学）

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容（調査問題では①と②を一体的に問うものとする）

❷ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

３　分析結果（岡谷市学力向上推進委員会による分析の概要）

【教科に関する調査】

□小学校では、各校の授業改善が進み、国語・算数ともに正答率が県・全国平均を上回っています。
□中学校では、国語・数学ともに正答率は県・全国平均と同程度となっています。

【質問紙調査】

□**授業や学級活動の場面で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだり、友達の話を最後まで聞き、互いの意見のよさを生かして解決方法を考えたりしている」との質問項目で肯定的回答が増加**し、各校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が進んでいることが伺えます。
□**基本的生活習慣（朝食、就寝・起床時刻等）についての質問項目で肯定的回答が多く、生活習慣が安定している**ことが伺えます。「人が困っていたら助ける」「人の役に立ちたい」と回答する児童生徒が増えており、基本的生活習慣の安定が他者への温かいまなざしにつながっているものと思われます。
□「計画を立てて学習している」児童生徒は増加していますが、**家庭での１日当たりの学習時間は県・全国と比較すると短い**傾向にあります。また、**読書の時間も県・全国との比較では短くなっています**。
□「**携帯電話・スマートフォン・コンピューターの使い方**について、家の人と約束したことを守っているか」の質問項目で、「（あまり）守っていない」「約束がない」という回答が県・全国を上回っています。また、**使用時間が短い児童生徒の方が、長時間使用する児童生徒よりも正答率が高い**ことが分かっています。
□**新型コロナウイルス感染拡大による休校の影響**についての質問項目は、**県・国とほぼ同程度の回答**になりました。各ご家庭にもご協力をいただいたことで、影響を最小限にすることができたものと思われます。

４　分析結果をふまえた今後の取組

学校で	□急激に変化する現代社会においては、身近な問題についての必要な情報を選び、活用し、表現する力が求められています。岡谷スタンダードカリキュラムの実践による探究的な学習や協働的な学びを充実させ、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を一層進めてまいります**。 □**学習用端末等、ICT 機器を活用した授業についての研修を進め、授業改善に生かしてまいります**。
家庭で	□学習に「粘り強く取り組むこと」「自らの学習を調整していくこと」が求められます。授業内容と結びつけた家庭学習（予習・復習）や、疑問や課題を解決したり、自分の興味関心をさらに伸ばしたりする自主学習など、**自分で計画を立てて取り組む家庭学習**となるよう応援をお願いします。 □**携帯電話・スマートフォン等の使い方について**は、ネットトラブルを防ぐためにも、**お子さんと一緒に約束をつくる**とともに、常に使用状況を見守っていただけるようにお願いします。

資料No.1-②

令和３年度 全国学力・学習状況調査からみえる

おかやの子のすがた

岡谷市教育委員会

岡谷の子のよいところ

児童・生徒質問紙で肯定的な答えが多かった設問から

- 朝食、起床・睡眠時刻等の基本的生活習慣が身についている【小・中】
- 地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えている【小】
- 将来の夢や目標を持って前向きに生活し、意欲的に学習に取り組んでいる【小・中】
- 「人が困っていたら助ける」「人の役に立ちたい」などと他者へ温かいまなざしを向けられる児童・生徒が多い【小・中】
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだり、友達の話を最後まで聞き、互いのよさを生かして解決方法を考えたりすることができている【小・中】
- 「自分と違う意見を考えることは楽しい」と他者を尊重しながら学んでいる【中】

教科に関する調査の結果

□**小学校**では、各校の授業改善が進み、国語・算数ともに正答率が**県・全国平均を上回っています。**

□**中学校**では、国語・数学ともに正答率は**県・全国平均と同程度**となっています。

岡谷の子の課題

児童・生徒質問紙で否定的な答えが多かった設問から

- 家庭での1日当たりの読書時間が短い
  【小】…32.0％の児童が 10 分以下
  【中】…45.7％の生徒が 10 分以下
- 携帯電話・スマートフォン・コンピューターの使い方の約束がなかったり、約束したことを守れなかったりする子が比較的多い【小・中】
- 家庭での1日当たりの学習時間が、全国・県と比較すると短い【中】
  【中】…2時間以上学習する生徒
  岡谷市 32.8％／全国 41.8％
- 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉に表すことが苦手【小・中】
- 自分で計画を立てて学習（予習や復習）に取り組める子は少ない【小・中】

今後の取り組み

□各学校において**岡谷スタンダードカリキュラムの実践を進め、地域課題の解決に向け大人や友達と共に力を合わせて進める学び**を通して、**これからの社会を生き抜く上で必要となる資質・能力を育んでまいります**。

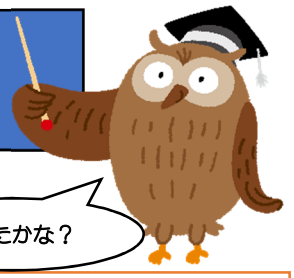
□日々の授業では引き続き、**友との対話や学びの振り返りを大切にした授業改善**を進めてまいります。

□**タブレット PC 等の ICT 機器**については、**従来の学習活動への効果的な位置付けを検討する**とともに、**児童・生徒が文房具の一つとして学習に活用していくことができる**よう実践を進めてまいります。

★各ご家庭においても、お子さんの学習の様子を見守りいただき、声がけ、ご支援をお願いします。

⇒ **裏面『伸びる おかやの子』へ**

伸びる　おかやの子
～　こんな問題につまずいていませんか　～

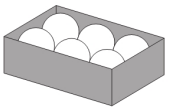


　算数・数学の問題を一問ずつ紹介しますので、お子さんと問題に挑戦するなど、家庭での学び方について話題にしてみてください。（小学生は中学生の、中学生は小学生の問題に取り組んでみてもおもしろいですね。）

小学校　算数

4 (2)《正答率》55.5%（全国）

4　こはるさんたちは、今までに学習してきたいろいろなわり算の問題についてふり返っています。



(1)　ボールが２３個あります。１箱にボールを６つずつ入れていきます。

　全部のボールを箱に入れるには、何箱あればよいかを求めるために下の計算をしました。

　　２３÷６＝３あまり５

　全部のボールを箱に入れるには、少なくとも何箱あればよいかを書きましょう。

(2)　８人に、４Ｌのジュースを等しく分けます。１人分は何Ｌですか。求める式と答えを書きましょう。

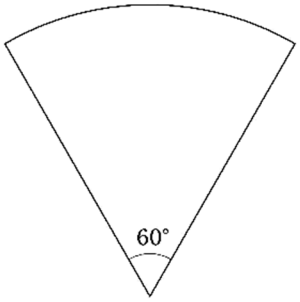
《正答》４÷８＝0.5　0.5L

　岡谷市では、36.6%の児童が８÷４と立式していました。要因としては「(1)の２３÷６という式に影響されたこと」「わる数がわられる数より大きく、商が小数になる式に違和感をもつ児童が多かったこと」が考えられます。立式して答えを出すだけでなく、**問題をよく読んで状況を図に表す、日常生活の具体的な状況に置き換えて考えるなどしながら、実感を伴って理解していくことが必要になります。家庭学習の中でも取り組んでいきましょう。**

中学校　数学

3《正答率》68.1%（全国）

3　次の図のような、中心角６０°のおうぎ形があります。このおうぎ形の弧の長さは、同じ半径の円周の長さの何倍ですか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



ア　$\frac{1}{2}$倍　　イ　$\frac{1}{3}$倍　　ウ　$\frac{1}{4}$倍　　エ　$\frac{1}{5}$倍　　オ　$\frac{1}{6}$倍

《正答》オ

　この問題を解くためにもとにする考えは、小学校５年生の「円と正多角形」で既に学習しており、教科書には、半径が示された左のようなおうぎ形の周りの長さを求める問題が掲載されています。**中学校の数学でも、小学校での学習内容が大切になってきます。新しい単元に入る前に、関連する小学校での学習内容を思い出したり、繰り返し学び直しの機会をもったりすることを意識して取り組んでいきましょう。**

学力向上のポイント　ーさらに力を伸ばすためにー

①　上の例も参考にしながら、自分で計画し、取り組む家庭学習に挑戦しよう

□授業で学習した内容の理解が確かなものになるよう、授業内容と結びつけた家庭学習（予習・復習）や、疑問や課題を解決したり、自分の興味関心をさらに伸ばしたりする自主学習に取り組もう。

②　様々なジャンルの本や新聞などを読もう

□推薦本の紹介やブックトーク、読み聞かせなどを通して、様々なジャンルの読み物に触れたり、読書の時間を増やしたりしていくことで、創造力や表現力を磨き、自己形成の基盤をつくろう。

③　ふるさと「岡谷」のよさや魅力を発見しよう

□ふるさと岡谷に根ざした学習「岡谷スタンダードカリキュラム」で地域とつながり、地域の課題について大人とともに考えることを通して、岡谷の「ひと・もの・こと・こころ」と学び、自らの思考力や判断力を高めよう。